

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	サウンドエンジニアリング3	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	サウンドクリエイターコース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	演習
教科書/教材	単元に応じて配布						
担当教員情報							
担当教員	川島 基宏/甲原 圭			実務経験の有無・職種	有・トラックメーカー/作曲家		
学習目的							
1年で学んだ作曲編曲の技術を2年生ではさらにDAWの中でより精度を磨いた形で作品にしていく。 ミックス・マスタリングにより深い考察と理解をする。 エフェクトや波形編集においては、より音楽性が豊かに感じ取られるトラック制作への知識と技術を身につける。							
到達目標							
実践的なミックスが実現できるように、講義だけではなく各自の作品のDAWデータを見ながらできるだけ解説をする。昨今の音楽は音の仕上げにおいてより複雑でインパクトのある音楽が求められる。EQ、コンプ、リバーブなどの考え方をより深めることによって現代のニーズに応えられるミックスの技術を磨く。また生楽器のミックスではより自然な音にするということなどいうことなのかを学ぶ。エフェクトを考える意味合いも常に「音楽的」でありことを前提に工夫する思考を磨きたい。Real Dreamsや卒業制作に反映させる。							
教育方法等							
授業概要	一人ひとりの作品のプロジェクトファイルをモニタリングしながら、それぞれのトラックにしかけてあるプラグインエフェクトや音色に対するアプローチを確認。 考え方をチェックしてより効果的なテクニックがないかを考える。 またミックスやマスタリングに関してはあらためて考え方を講義する。						
注意点	何よりも出席重視という事。そして自分以外の人の作品にも興味と考察を深められるようにしたい。そのことで多くのジャンルやスタイルに対する対応力が着く。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	30%	課題は必ず提出。内容は考慮しない。				
	小テスト	20%	トピックごとに行う				
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	50%	出席に重点を置く				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ミックスダウン①			ミックスセッションのセットアップについて設定を理解する 他作業工程を学ぶ			
2回	ミックスダウン②			各トラックへの設定を学ぶ トラックごとの名前・色などの設定方法を学ぶ			
3回	ミックスダウン③			ミックスワークフローを理解する パス・音量バランス・パンニングの調整を学ぶ			
4回	ミックスダウン④			オーディオプロセッシングを理解する EQイコライジングについて技術を習得する			
5回	トラックダウン①			ダイナミクスコントロールについて理解する			
6回	トラックダウン②			オーディオデータの編集に関してその作業方法と効果を理解する			
7回	トラックダウン③			トラックごとのプラグインの方法とその効果を理解し習得する			
8回	トラックダウン④			オートメーションの入力 書き出し方法を習得する			
9回	マスタリング①			マスタリングの意味を理解する ミックスとの違いを把握し作業工程を習得する			
10回	マスタリング②			音声の修復 雑音ノイズ等の修復作業についてその方法を習得する			
11回	マスタリング③			ステレオエンハンサーについてその効果と意味を理解する 音像調整の方法を習得する			
12回	マスタリング④			イコライザーの効果と方法を習得する			
13回	前期音源制作			エフェクト～コンプまで			
14回	前期音源制作			ミックスダウン・トラックダウン・マスタリングまでを使い既存または自身の音源を制作する			
15回	発表会			各自作品発表 確認			